

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって行う。
なお、本大会は、小学生記録会との同時開催となっている。小学生には、競技経験や大会参加経験の少ない者もいるため、ウォーミングアップや練習等を十分注意して行う。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニフォームの胸と背に確実につける。ただし、跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後、直ちに係員に返却する。

3 招集について

- (1) 招集場所は、100mスタート側（器具庫付近）に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、以下の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	1時間前	20分前
フィールド競技	1時間前	30分前

- (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係（招集所）に申し出る。

4 競技について

- (1) フィールド競技の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。投擲競技種目は競技開始30分前より、審判の指示で練習を行う。それ以外には、勝手に練習を行わない。
- (2) 記録会種目については、3回の試技とする。
- (3) 本大会において、愛知県ジュニアオリンピック大会参加標準記録を突破した者は、8月31日（土）にパロマ瑞穂競技場で行われる愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協要覧を参照し、参加申し込みをする。

5 四種競技について

- (1) 四種競技の招集所での招集は、最初の種目時のみ行う。2・3番目の種目については、10分前までに競技場所に集合すること。なお、最終種目では、3種目目までの合計得点で番組編成された組・レーンを確認し、10分前までに招集所で腰ナンバーカードを受け取ってから、競技場所に集合する。
- (2) 四種競技において途中で棄権する場合は、必ず、競技役員に申し出る。棄権をした競技者はそれ以降の種目に参加することはできない（記録なしや失格は棄権とはならない）。

- (3) 走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。ただし、天候などの条件によっては、審判長の判断で変更する場合もある。

種 目	練習	最初の試技	バーの上げ方
男子四種	1m25 cm	1m30 cm	170 cmまでは 5 cm、以後は 3 cm
女子四種	1m15 cm	1m20 cm	145 cmまでは 5 cm、以後は 3 cm

- (4) 四種競技の 1 ~ 3 位入賞者には、賞状を授与する。入賞者は成績発表後、本部席前にて表彰する。
- (5) 四種競技の出場者で、本大会 4 位(4 名)までに入賞した者、及び男子 1,700 点以上・女子 1,800 点以上の者は、以下の大会の出場権を獲得する。
- 愛知県中学校混成競技大会 7月6日(土)パロマ瑞穂競技場
* 愛知陸協登録ナンバーが必要 愛知陸協要覧参照
- 全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
7月20日(土)21日(日)パロマ瑞穂競技場
* 中体連の5桁ナンバー可 愛知陸協要覧参照
- 愛知県中学校総合体育大会 7月28日(日)29日(月)パロマ瑞穂競技場
* 中体連の5桁ナンバー可 愛知県中小学校体育連盟要覧参照

6 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

7 競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、本部席前や競技場内に立ち入って行わない。また、本部席前の通行は禁止とする。
- (2) 清掃・ごみ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

8 その他

- (1) 開門時間は7時30分とする。役員と準備校は7時00分に正面中央入口からの入場を許可する。
- (2) プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、受付後、本部に申し出る。
- (3) 400mまでのレーン使用の競技では、他の競技者の安全確保のため、フィニッシュした後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速して止まる。
- (4) 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。
- (5) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(メインスタンド内・審判控え室横付近)において処置を行う。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。

選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

- ・保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ・写真・ビデオ等での撮影は、個人情報保護条例に基づき学校関係者および選手の家族を除き、必ず本部で撮影許可申請を行ってください。協議・確認の上、許可証(有料)を渡します。
- ・他者に著しく迷惑をかける行為として主催者が判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。